

9	単元名	文を書こう
---	-----	-------

1 指導目標

- (1) 所有関係の「の」の使い方が分かるようにする。
- (2) 手段を表す「で」の使い方が分かるようにする。
- (3) 場所・方向を表す「へ」の使い方が分かるようにする。

2 指導内容

- (1) 名詞文（所属・所有）の文型を理解し、文を書かせる。
 の です。
- (2) 動詞文（移動・方向・手段のへ格・デ格）の文型を理解し、文に書かせる。
 は、 へ行きます。
 は、 で行きます。

3 指導計画

時間	主な学習内容	指導上の留意点
1	<ul style="list-style-type: none"> ○実物・絵カードを示し、物の名前を繰り返して聞き、覚える。 ○教師と児童で交代し、会話形式で話す。 「これは何ですか。」 「〇〇です。」 ○同じように人物の名前を確認する。 「誰ですか。」 「〇〇です。」 ○教師が、「〇〇さんの本」「〇〇さんの鉛筆」と言うのを聞き、覚える。 ○教師と児童と交代で会話練習する。 「これは、誰のですか。」 「〇〇さんの～です。」 「分かりません。」 ○ワークシートに書き入れる。 ○場所の絵カードを示し、教師が言うのを聞き、覚える。 「どこですか。」 「〇〇です。」 ○教師と児童と交代で練習する。 「あなたは、どこへ行きますか。」 「私は、〇〇へ行きます。」 ○ワークシートに書き入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物は本、鉛筆、消しゴム、かばん、筆などの児童・生徒の生活にも、関係するものを選ぶ。 ・繰り返し復唱させる。 ・絵カードは、お母さん、お兄さん、お父さん、妹、弟、先生、おじいさん、おばあさん、おまわりさんなど、身近な人にする。 ・物に記名をしておくといい。 ・助詞の「は」「の」のカード、人物や物の絵カードを準備する。 ・40 ページ, 41 ページのワークシートを使用する。 ・学校、山、川、湖、教室、病院、コンビニエンスストア、動物園、遊園地、プールなど、児童・生徒の生活に身近なものの絵カードを用意する。 ・教師が二役をして問答を繰り返し聞かせる。 ・ワークシート（89 ページ）を使用する。

2	<p>○前時で学習した「○○へ行きます。」の復習をする。</p> <p>○乗り物の絵カードを示し、音を繰り返し聞き、覚える。</p> <p>○「私は、○○で行きます。」の文型を練習する。 「私は、バスで行きます。」</p> <p>○教師と児童と交代で練習する。 「あなたは、何で行きますか。」 「私は、○○で行きます。」</p> <p>○ワークシートに書き入れて発表する。</p> <p>○助詞「で」の他の使い方が分かる。 「私は、鉄棒で遊びます。」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バス、新幹線、救急車、電車、自転車、船、飛行機、ヘリコプターなど身近なものの絵カード等を準備する。 ・助詞「は」「で」のカード、乗り物の絵カード、文型カードを準備する。 ・「歩いて」は、「で」にならないことに注意させる。 ・90 ページのワークシートを使用する。
---	---	---

4 指導のポイント

- (1) 文型の指導では、必要な単語を聞いてしっかり覚えさせる。また、絵カードに表記しておくなどして、文型を覚えることに集中できるようにする。
- (2) 教師が二役をしたり、他の児童・生徒に手伝ってもらったりしながら、「聞くこと」と「答えること」を覚えて、会話の中で使えるようにしておく。
- (3) 絵や写真など、視覚的な資料を準備する。
- (4) 中国語を母語とする児童・生徒にとっては、助詞の習得は難しいので、繰り返し学習を丁寧に行う。
- (5) 国語の教科書教材で、同様の使い方をしている助詞を○で囲ませる。

5 期待される成果等

- (1) 会話や日記、作文の中で、助詞を正しく使えるようになる。
- (2) 生活に必要な語彙が増える。

6 補充・発展的な学習課題例

- (1) 休み時間等に、学習した文型を使って話す。
- (2) 児童・生徒にとって「は」「へ」の表記は難しい。「わ」「え」と区別するプリント学習を行う。
- (3) 1行日記や短文作りを行う。

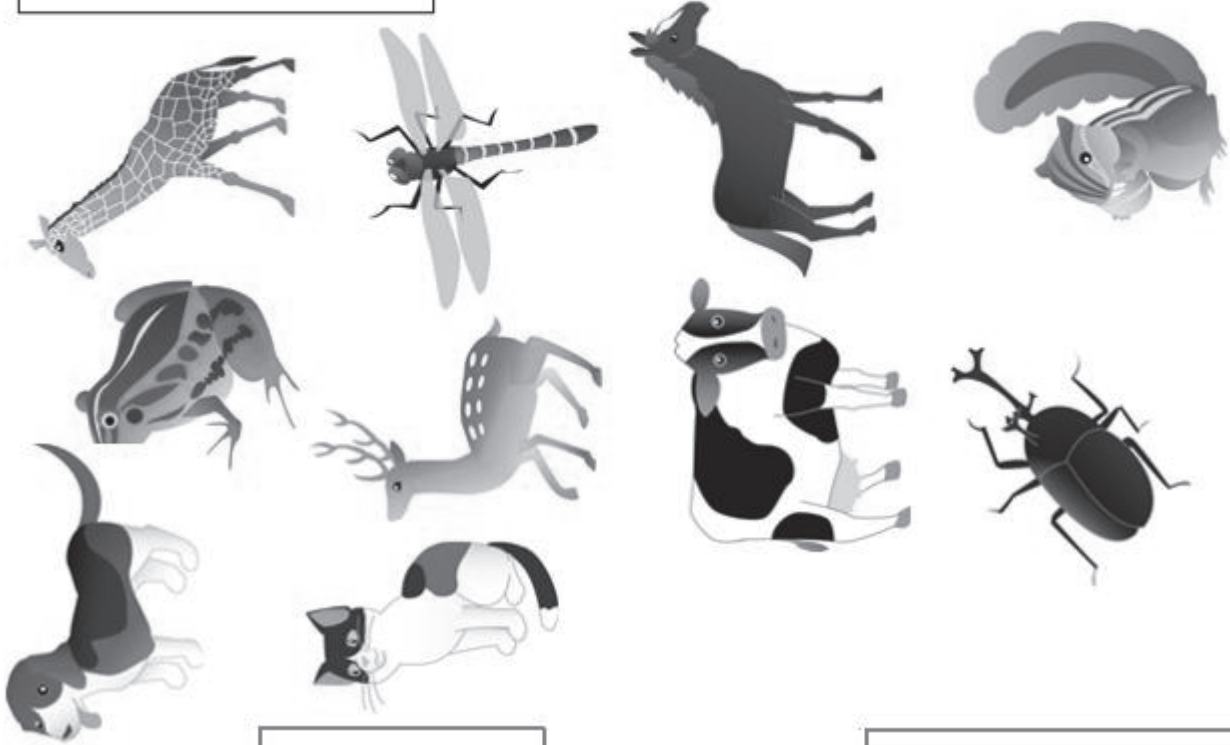
7 実践例

○中国語を母語とする児童

- ・母語に助詞がない。日常会話で助詞が抜けても意味が通じる場合が多いので、なかなか定着しなかった。基本文型を繰り返し学習することで理解が深まった。
- ・授業の最初に、学校や家庭の出来事を話す時間を設けた。助詞が抜けたときには、言い直しをさせた。
- ・教科書教材で同じ使い方をしている助詞を○で囲み、繰り返し音読練習をさせた。その結果、日常会話で助詞を多く用いることができるようになった。

なんですか？

です。わかりません。



わたしは、

がすきです。

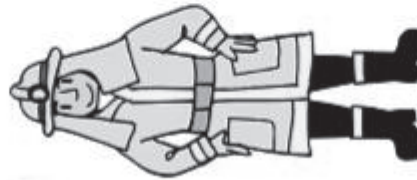
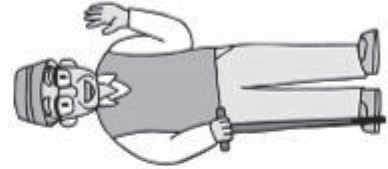
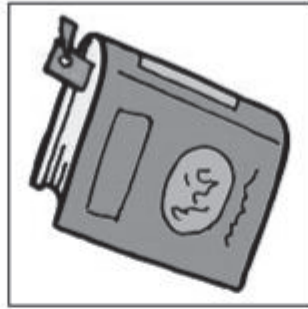
どちらの きりん、とんぼ、うま りす、かえる、しか うし、かまどむし いぬ、ねこ そのほかのどちらのほうか。

あなたは、なにがすきですか？

いんたびゅう
 インタビューしよう。

	さん
	さん

だれのほんですか？



①

の

です。

②

の

です。

③

の

です。

④ わかりません。

おかあさん、おにいさん、おとうさん、
おじいさん、おばあさん、おまわりさん、
しょうぼうしさん、さんたさん、ぼく、
わたし、せんせい、いもうと、おとうと
ともたち…。